

子どもたちを 守りましょう



シートベルトをしめましょう！

子どもは強くありません

はじめて車に乗せるときから、車に乗るたびにチャイルド・カーシートを使用する習慣をつけましょう。そうすることによってあなたの大切な子どもを守ることができます。

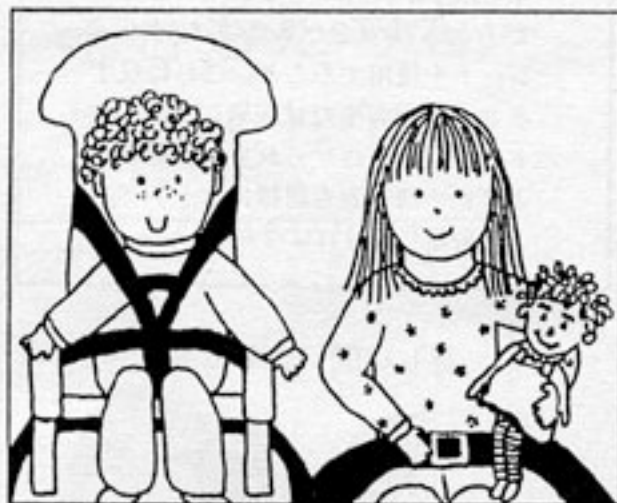


「カーシート大好き！」

交通事故や急停車のとき、
あなたの子どもは・・・

- ◆あなたの腕から投げ出される
- ◆シートベルトをしていない人に押しつぶされる
- ◆車外に投げ出される
- ◆車内で投げ出される

「私の指定席！」



あなたが子どもを守る！

4才以上になり体重が40ポンド（約18kg）以上になるまでは子どもをカーシートにすわらせましょう。その後は乗るたびにシートベルトを着用させましょう。



「みんなでシートベルトをしめましょう！」

3種類のカーシートをご紹介します

子どもの体とあなたの車にフィットするのが一番良いカーシートです。買う前に試してみてください。説明書をよく読んで正しく使いましょう。

乳児用シート

新生児期から20ポンドまで

注意：運転席と助手席の両方にエアバッグがある場合、後部座席に後ろ向きで座らせましょう。



コンバーティブル・シート

新生児期から40ポンドまで

1才までは後ろ向きに座らせましょう



セーフティ・ブースター

40ポンド以上の小児

安全チェックリスト

- ☆1才になるまではカーシートが車の後方を向いていること
- ☆引き具がたるんでいないこと
- ☆ストラップは腕ではなく肩にかかっていること
- ☆引き具止めが掛けられていること
- ☆安全ベルトが正しい位置に取り付けられていること
- ☆安全ベルトにたるみがないこと

カーシートについてのQ & A

Q: どうすれば子どもをおとなしくカーシートにすわらせることができますか?

A: 車に乗るときに必ずカーシートに座らせる習慣をつけます。もし子どもがカーシートから抜け出したら、すぐに車を止め、子どもをカーシートに戻します。頻繁に車を止めて気晴しをしたり、一緒に歌を歌ったりしてみましょう。車には柔らかい素材でできたおもちゃを用意しておきましょう。

Q: カーシートの値段が高すぎます。

A: よくさがせば、新生児期から4才まで使える新品のコンバーティブル・シートが50ドル以下で購入できます。つまり、1年わずか12ドル程度で子どもの安全を守れるわけです。また地域によっては、低価格で貸シートを使用できる「カーシート・ローン」がありますので、ヘルスクリニックや警察署に問い合わせてみましょう。

Q: 中古品の安全基準は何ですか?

A: 中古のカーシートを買ったり借りたりする前に、次のことを確かめましょう。

- 製造されて10年たっていないこと
- 安全保証ステッカーがついていること
- 欠陥商品でないこと (欠陥商品リストについては SafetyBeltSafe U.S.A. までお問い合わせください)
- 全部品と使用説明書がついていること
- 事故にあっていないこと

カリフォルニア州法

4才以上かつ40ポンド以上になるまで子どもは安全ベルトまたはカーシートを使用すること。これに反すると、運転者または同乗の親に100ドルの罰金が課せられる。運転者および他の同乗者も同様にシートベルトを着用しなければならない。

詳しい問い合わせ先



SafetyBeltSafe U.S.A.

P. O. Box 553
Altadena, CA 91003
(310) 673-2666
(800) 745-SAFE

Adapted from materials by:
California Center for Child Passenger Safety;
Child Health and Disability Prevention Branch
California State Department of Health Services.

Translation by: Yoshiko Tombrello